愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	子どもの健康と安全		
担当者(Instructors)	小川 真由子	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本科目における目的は「子どもの生命や健康、安全の保持について正しい知識と技術を身に付ける」ことである。既習の「子どもの保健」で習得した知識に基づき、保育現場で保育者として保健活動の重要性を理解し、現場で実践できるよう演習を通して理解を深める。子どもを取り巻く環境の変化や社会問題にも目を向け、心の健康や理想とする環境、地域の保健活動の取り組みについて学び、子どもの健康管理や養護の内容・方法を再確認する。また、保育現場で実際に起きている事故の特徴や予防・応急処置および緊急時の対応について学習する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	講義形式と演習、グループ活動を適宜組み合わせて行う。演習に関しては主にアクティブラーニング形式を導入し、実技演習とともにグループワークによる意見交換や互いの評価などを共有し、技術・知識の向上に努めること。この講義では、担当者が医療機関における10年以上の看護師および保健師としての現場経験を活かし、授業や学生の指導を行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	子どもの健康と保育	保育者の健康管理と保健管理について学び、清潔保持の方法や正しい感染予防対策を身につける。	□
第2回	子どもの健康支援	身体計測の意義を知り、身長、体重、胸囲、頭囲の計測をの方法について学ぶ。また、子どもの生理機能について正しい知識をもち、体温、呼吸、脈拍の計測の技術を身につける。	□
第3回	環境および衛生管理	保育施設における環境管理、衛生管理、感染症対策の実際について学ぶ。	□
第4回	保育における保健的対応	保育の場における３歳未満児への対応、個別的な配慮を要する子どもや障害のある子どもへの対応等、保健的対応の基本と実際について学ぶ。	□
第5回	事故防止および安全対策	保育の場における重大事故について学び、事故時の対応の実際について学ぶ。	□
第6回	子どもの体調不良等に対する適切な対応①	体調不良時、事故発生時の保育の場における対応の実際について学ぶ。	□
第7回	子どもの体調不良等に対する適切な対応②	保育の場における応急手当と救命手当（救急蘇生法）の基本について学ぶ。	□
第8回	災害への備えと健康および安全管理の実施体制	災害時の保育施設としての心構え・知識や備え、災害対応を理解し、協力体制の構築について学ぶ。また、子どもの健康と安全を守るための職員間の連携・協働・組織としての取り組みおよび保健計画の実際について学ぶ。	□
第9回			□
第10回			□
第11回			□
第12回			□
第13回			□
第14回			□
第15回			□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

関連する既習科目の復習を含め２時間程度、教科書の予習を行うこと。 毎回の授業後の振り返りとしてレポートをまとめて提出することと、

実技の復習など、毎回2時間以上の自主学習をしておくこと。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の授業に関する内容について、レポート課題を提出し、理解度に応じて評価を行い、コメントを付記して次の授業時に返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	１．子どもの成長、発達に応じた養護の内容・方法を理解し、演習を通して技術・援助力を修得し、実践することができる。 ２．乳幼児に起こりやすい健康障害や事故について理解し、正しい応急手当の方法や予防を行うことができる。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	子どもの健康および安全を守るために、環境衛生や健康管理・安全管理についての理解を深め、保育者としての役割を説明することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

グループワークや演習への取り組みなどの授業参加の貢献度を30%とする。その他として、理解度の把握による評価を20%、実技習得度の評価を20%、毎回のレポートや課題の内容の評価を30%としてそれらを総合的に評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	高内正子・梶美保編『保育の場で活きる 子どもの健康と安全』建帛社（2020年）	978-4-7679-5124-9
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		